

はじめに



福生市は、昭和45年7月に市制を施行し、平成12年で30周年を迎え、この間、着々とまちづくりを進展してまいりました。平成12年3月には、新世紀となります21世紀、向こう10年間の福生市第3期総合計画が策定され、その将来都市像を「やすらぎ いきいき 輝く街 福生」として、市民の皆様が生き生きと安心して暮らしていける、まちづくりを推し進めて参りたいと考えております。

さて、米空軍横田基地には、市の行政面積の32.4%を占める3,317k㎡が提供され、福生市にとっては大変大きな存在であります。したがって、基地対策は実に重い課題です。また、いわゆる思いやり予算により、新たに滑走路の全面改修やごみ処理施設建設などが計画され、米軍の輸送中継基地としてさらに強化され、重要な拠点として位置づけられつつあります。

基地問題に対する考え方やその対策の進め方については、当面、基地は動かし難いとの前提に立って考えておりますが、基地の存在に起因する諸問題は、基地周辺の住民だけが犠牲になるということではなく、常に都民あるいは国民すべての問題として捉え、その対策について万全を期すよう関係各機関に絶えず要望、要請を行ってまいりました。

とりわけ、市民生活や行財政運営に重大な影響を及ぼすことのないよう、航空機騒音対策や公共施設整備などを図るための防衛補助事業の拡充に努め、「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」と連携、協力して国及び米軍に対し、米空母艦載機による離発着訓練の全面中止、航空機の安全運航の推進などを強力に要請しております。

本書は、平成3年、平成8年に発行した「福生市と横田基地」の改訂版として発行するものであり、基地に起因する多くの諸問題を抱える本市の現状を知っていただくとともに、基地周辺対策事業関係資料集としてとりまとめたものであり、関係各位のご参考になれば幸いです。

改訂版発刊に際しまして、資料の御提供や御指導、御協力をいただきました多くの方々に厚くお礼を申し上げます。

平成13年3月

福生市長 野澤久人